協会けんぽ加入者・事業主の保険料負担の軽減を求める要請書

内閣総理大臣　殿

全国健康保険協会(協会けんぽ)の加入者は、160 万社の中小企業の従業員とその家族であり、国民の 3.6 人に 1 人、3,500 万人が加入しています。

リーマンショック以降、加入者の給料は下がり続ける一方で、医療費が増大しているため、毎月の給料に掛かる保険料率は上がり続けており、生活は一層苦しくなるばかりです。平成 24 年度の保険料率は、3 年連続の引き上げとなり、全国平均でついに 10%となりました。

協会けんぽの加入者の大半は、健康保険組合等に加入する大企業の従業員(平均年収 536 万円。平均保険料率 7.93%)や国家公務員(平均年収 631 万円。平均保険料率 7.06%)に比べて低い給与水準(平均年収 370 万円)にあります。結果的に、給料の低い中小企業の従業員が高い割合で保険料を負担しています。

さらに、少子高齢化社会を迎え、増え続ける高齢者の医療費のため、現役世代の負担は重くなっています。平成 24 年度で、協会けんぽに加入している事業所の負担は、従業員 1 人当たり年間約 17 万円となり、その負担額は昨年度より 3,095 億円（1 人当たり年間約 1 万 6 千円）も増えています。苦労して納めた保険料のうち 4 割もの部分が高齢者医療のために使われているのです。

本来、医療費負担は公平であるべきです。保険料負担の制度間の格差を是正せず、増え続ける高齢者の医療費を現役世代に負担させることは既に限界に達しています。よって、

【要請事項】協会けんぽ加入者・事業主の保険料負担を軽減するため、以下の事項の実施を強く要請いたします。

一、協会に対する国庫補助金の補助率を法律上の上限である 20%(現在 16.4%)に引き上げること。

一、公費負担の拡充をはじめとして、高齢者医療制度を抜本的に見直すこと。

氏　　名	住　　所

（取扱い団体）　全国健康保険協会

本署名は、内閣総理大臣又は国会議員及びその関係者に対して、上記の要請を行うために使用するものです。今回頂いた署名の個人情報は、この目的以外に使用すること及び第三者への提供はいたしません。